

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 劇団風の子
公演団体名	劇団風の子

内容
事前に各学校にワークショップの内容と目的、準備していただくもの等の明細をお送りします。Youtube で作品の映像を少しご覧いただくことが出来ます。
ワークショップの実施が難しい場合には、公演後にアフターワークを実施することで代替措置とします。
額縁を使って切り取られた空間の中で身体を使い、絵になる表現をします。タイトルやキーワードからイメージした一人ひとりの発想と表現を大事にします。
※ワークショップ中は、講師、出演者はマスクを着用します。

タイムスケジュール（標準）
8:00 11:00 12:00 12:20 12:00 14:00 14:10
設営 開演 終演 アフターワーク 撤去開始 撤去終了 退校
一日の中でワーク・本公演を行います。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
4名（キャスト3名+スタッフ1名）

学校における事前指導
特にありません。

演目解説

ソノヒカギリ美術館は言葉の通りその日一日限りの美術館です。子どもたちが美術館を訪れるお客さんという設定で、ストーリーはありますが、子どもたちと俳優が創り上げるその日ならではのライブ感のある体験型演劇です。

【あらすじ】

ソノキニ・ナールさんとソノバ・シノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。毎日あちらこちらで一日限りの美術館を開催しているのですが、今日はこの小学校の体育館でソノヒカギリ美術館を開くことになりました。校長先生から依頼のお電話をいただいたのです。

児童の皆さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのに！あわてて大きな箱を開いたり包みを解いたりする二人。そこに一人の子どもが迷い込んできました。名前はアキ。

アキは箱の上に乗ったり、包んであった大きな紙をガサガサしたり放り投げたりして遊び始め、ナールとシノギはちっとも仕事はかどりません。展示された立派な美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。ナールとシノギは何とか準備を進めようとしますが、ついアキのペースに乗せられて二人も遊び始めてしまいます。

遊んでいるうちにシノギが額縁の中に閉じ込められて絵になってしまいました。アキとナールはどうしたらシノギを助け出すことができるでしょうか。ソノヒカギリ美術館は無事オープンできるのでしょうか！？

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ・ワークショップでは、アイスブレイクとして「手あそび」などをして子どもたちの心と身体を解放できるように進行します。
- ・子どもたちが作る作品や表現が本番の中で重要な役割を担っていることを伝えながら、一緒にお芝居を作る場を楽しめるように声掛けをします。
- ・作品作りをとおして、一人ひとりの表現が他者の表現とつながり、重なり、呼応して、それが芝居の中で生きる喜びを体感してほしいと願っています。

児童生徒とのふれあい

- ・お芝居の後半では美術館がオープンし、鑑賞しながら退場します。そこまでがお芝居です。舞台にある展示された絵や造形物を近くでみることができます。
- ・出演者と親近感を持てるよう、退場時に学芸員（出演者）が展示作品の解説などを行います。
- ・コロナウイルス感染症の拡大状況に関わらず、お芝居中はマウスシールド、子どもたちが舞台上に上がる際、退場時の解説の際はマスクを着用します。